

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	(公財)福岡県動物愛護センター			設立年月日	昭和57年1月27日		
所在地	古賀市小竹131-2						
出資総額	3,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	3,000千円			千円	%		
県出資割合	100.0%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	動物愛護と適正飼養に関する普及啓発及び人材育成等に関する事業や動物の管理に関する事業を行うことにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を確保しつつ人と動物が共生できる社会の実現を図り、併せて、県民の間に動物を愛護する気風を招来し、生命の尊重、友愛及び平和の情操の涵養に寄与することを目的とする。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
動物愛護、適正飼養に関する普及啓発及び人材育成事業	動物関係専門学校生等への研修、施設見学者への啓発、犬のしつけ方教室、動物愛護教室、講師派遣、譲渡団体研修会、センターボランティア研修会を行っている。						
動物愛護・管理支援事業	動物の収集及び管理事業(処分含む)、犬及び猫の譲渡事業を行っている。						
動物愛護週間事業	動物慰霊祭及び動物愛護講演会、動物愛護フェスティバルふくおか、街頭キャンペーンを行っている。						
事業実績に関する情報	単位	H24	H25	H26	H27	H28	備考
犬・猫の譲渡会	参加者数(人)	407	275	256	178	160	
動物愛護教室	参加者数(人)	63	-	47	14	35	
犬のしつけ方教室	回数	12	21	20	21	23	
動物の処分数	頭数	5,017	4,352	3,423	2,871	2,151	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 高田 則子		区分	県生活衛生課長			非常勤
常勤役員名	常務理事 田村 聡		区分	県派遣			所長兼務
		H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1
常勤役員数		1名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	4名	3名	2名	2名	2名	2名
	うち プロパー	2名	1名	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	5名	6名	7名	7名	7名	7名
	合計	9名	9名	9名	9名	9名	9名
増減の主な理由							
増減なし							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役職員再掲)		H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1
	県派遣	2名	2名	2名	2名	2名	2名
	県OB	1名	1名	1名	1名	1名	1名
財政支出		H24	H25	H26	H27	H28	備考
	出資金	-	△7,000千円	-	-	-	県出資相当額の返戻
	貸付金	-	-	-	-	-	
	補助・負担金	-	-	-	-	-	
	委託料	135,531千円	124,098千円	114,310千円	111,480千円	109,914千円	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H24~H28)							
効率的な業務運営に努めるとともに、動物愛護及び適正飼養の普及啓発、人材育成事業等の充実を図る。							
4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況							
別紙に記載							

5. 経営状況(公益法人)							
項目	単位	H24	H25	H26	H27	H28	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	59,228	34,660	22,400	17,304	20,294	
うち金銭債権	千円	2	4	2	2	29	
うち特定資産	千円	8,300	-	-	-	-	
負債合計	千円	46,772	30,407	18,126	12,048	14,138	
うち借入金額	千円	-	-	-	-	-	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	12,456	4,253	4,274	5,256	6,155	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記							
経常収益 A	千円	135,555	124,105	114,335	114,868	110,412	
うち県財政支出額 B	千円	135,531	124,098	114,310	111,480	109,914	
内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-	
内訳:委託料	千円	135,531	124,098	114,310	111,480	109,914	
うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	受取利息収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	
	千円	15	5	20	3,384	494	
経常費用 C	千円	135,342	125,308	114,314	113,886	109,513	
うち人件費総額 D	千円	56,256	47,917	36,141	36,623	37,673	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	213	△1,203	21	983	899	
経常外損益 G	千円	573	-	-	-	-	
当期一般正味財産増減額 I=(F+G)	千円	786	△1,203	21	983	899	
当期指定正味財産増減額 J	千円	-	△7,000	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 K	千円	135,531	117,098	114,310	111,480	109,914	
【財務指標】							
正味財産比率	%	21.0	12.3	19.1	30.4	30.3	
県財政支出率 (=B/A)	%	99.9	99.9	99.9	97.0	99.5	
人件費率 (=D/A)	%	41.5	38.6	31.6	31.9	34.1	
収益事業比率	%	-	-	-	-	-	
受託事業外注費比率	%	31.5	35.3	38.9	39.5	40.1	
【団体毎の経営評価指標】							
人件費総額(退職金除く)	千円	40,067	35,050	36,086	36,558	37,611	
【常勤従業員の報酬・給与に関する状況(平成28年度)】							
常勤役員平均年齢	59.0歳	常勤役員平均年収	9,025千円	常勤職員平均年齢	59.0歳	常勤職員平均年収	7,054千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>経常増減額は、前期より減少したものの、寄付金により収益が増加したことにより、プラスを維持している。 人件費については、平成25年度と平成26年度のプロパー退職後の組織体制見直しにより、抑制を図っている。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
ボランティア等民間の活力を活かした適正飼養の普及啓発や譲渡事業が充実し、動物の処分数の減少や譲渡数の増加に繋がった。							
7. 外部専門家の意見							
<ul style="list-style-type: none"> 動物の処分数は、前年度から更に減少しており、中期経営計画における目標処分数を大きく下回っており、改善目標を達成している。 引き続き、市町村における各種事業との連携も含め、処分数の減少への取組が求められるとともに、県や関係機関とも連携し、獣医師をはじめとする人材の確保及び育成が求められる。 処分数の減少状況等を踏まえ、今後、致死処分方法の検討も含め処分業務運営のあり方について、県内の保健所設置市や近隣県の状況も踏まえて引き続き県と検討することが望まれる。 							
8. 経営評価委員会による経営評価結果							
<p>中期経営目標で掲げた改善目標が概ね達成されている。ボランティアの確保を図り、その協力を得ながら譲渡活動を推進したことにより、譲渡数の増加及び致死処分数の減少に大きく寄与した点は評価できる。 今後も、改善目標が達成されていない項目の目標達成に向けた取り組みを推進されたい。</p>							

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標		上段:計画 下段:実績						自己評価	改善目標区分の達成に向けたH28の取組状況			
		単 位		H23	H24	H25	H26	H27	H28					
事業活動・住民サービス	<p>〈普及啓発、人材育成〉</p> <p>①県民の意見等を踏まえて動物愛護事業を充実するとともに、マスコミとの連携やHP(ホームページ)による情報発信により参加者の増大を図る。</p> <p>また、しつけ方教室等を通じて模範的な飼い主を育成するほか、ボランティア等に対する研修や意見交換により、動物愛護に関わる人材の育成を図る。</p>	譲渡会参加者数	人		500					540	B	<p>H27より子犬の譲渡会を廃止し、成犬や猫と同様に個別面談による随時の譲渡に変更している。H26までは事前講習会+譲渡会の参加者数を計上、H27以降は事前講習会の参加者数のみの計上のため実績が減少した。</p>		
				485	407	275	256	178	160					
		しつけ方教室	回		21					24			A	
				21	12	21	20	21	23					
		ペット相談	件		820					900			A	<p>しつけ方教室は、雨天中止の回があったことから、目標を下回った。</p>
				816	1,029	833	1,126	1,111	1,198					
	ボランティア・団体等との意見交換会	回		23					30	A	<p>ペット相談は目標を大きく上回った。</p>			
			集計なし	33	44	44	44	45						
	動物愛護事業に参加するボランティアの延べ人数	人		200					240	A	<p>ボランティア等との意見交換会、ボランティアの参加者数ともに目標を上回り、収容した犬猫の散歩やシャンプーなどボランティアとの協働活動が活発にできた。</p>			
			集計なし	209	257	374	400	309						
計画性 公益性	<p>〈処分数の減少、公衆衛生の向上〉</p> <p>②イベントへの参加、HPの活用及びマスコミとの連携等により、動物の適正飼養、終生飼養の啓発を図るとともに、団体譲渡の拡充を図る。</p>	動物の処分数	頭		5,500				5,000	A	<p>適正飼養の普及啓発により、動物の処分数は、目標を達成し、さらに減少できた。</p> <p>譲渡数は子猫の譲渡が増加したことと昨年よりも増加したものの、目標をわずかに下回った。</p>			
				5,502	5,017	4,352	3,423	2,871	2,151					
	動物の譲渡数	頭		300					340	B				
			282	300	306	311	317	326						
HPの閲覧件数	<p>〈情報発信・広報活動〉</p> <p>③HPにより、収容動物等情報、各種教室、譲渡会の情報を発信するほか、適正飼養等に係る内容を充実することにより県民の利便性向上を図る。</p> <p>また、イベントや街頭キャンペーンにおいて当法人の活動を広報し、県民の理解のもと事業を効果的に推進する。</p>		件		119,000				123,000	A				
				118,000	125,387	125,550	148,530	144,210	149,510					
財務会計	<p>①基本財産の活用状況を点検し、必要な見直しを行う。</p> <p>②公益法人の健全な運営のため、新会計基準を導入する。</p> <p>③人件費の増加の抑制に努める。</p>	基本財産の見直し(県出資相当額の返戻)	千円		検討					実施	A	<p>基本財産の見直しを行い、福岡県からの出資金の一部をH25に返戻した。</p> <p>会計基準は、H25に新会計基準を導入した。</p>		
				-	検討	7,000	-	-	-					
		公益法人会計基準(平成20年基準)の導入	-		検討					導入				
経済性 効率性	<p>③人件費の増加の抑制に努める。</p>	人件費総額(退職金除く)	千円		41,548					36,434	B	<p>人件費総額は、H25とH26のプロパー退職後の組織体制見直しにより、増加の抑制を図っているものの、H28は、4~5月に一時的に職員を雇用したことなどにより計画額を上回った。</p>		
				45,754	40,067	35,050	36,086	36,558	37,611					
内部管理	<p>①職員の人材育成、技術の継承に努め、法人の技術的基盤を強化することにより、県による人的支援を必要最小限とする。</p>	県派遣職員数	人		2					1	B	<p>県派遣職員数は、退職したプロパー職員(獣医師)の後任を確保できず、県派遣により対応を図った。</p>		
				1	2	2	2	2	2					
	<p>②会計基準の厳格な適用のため、経理事務に精通した監事を登用する。</p>	経理事務に精通した監事の登用	-		検討					実施	A	<p>監事はH25から税理士を登用した。</p>		
				-	検討	実施	実施	実施	実施					
達成状況(まとめ)														
<p>・平成27年度から子犬の譲渡会を廃止し、随時の個別譲渡に変更したことで、譲渡会参加者数が減少し目標を下回っているものの、個別譲渡が増えたことで、譲渡数の増加につながった。また、適正飼養の普及啓発、HPのイベント情報の随時掲載等により、ボランティアとの協働、HPの閲覧件数、動物の処分数は目標を達成した。</p>														

※自己評価について …

A. 達成されている。概ね達成されている。

B. 目標達成に向けた取組みは行っており、概ね評価できる。

C. 目標の達成は難しい。

5-②. 経営状況(内訳表)						
項目	単位	H24	H25	H26	H27	H28
【正味財産増減計算書】						
法人全体 (①③)	経常収益 A	千円	124,105	114,335	114,868	110,412
	うち県財政支出額 B	千円	124,098	114,310	111,480	109,914
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	124,098	114,310	111,480	109,914
	うち最も多額な項目	項目名	受取利息収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入
		千円	5	20	3,384	494
	経常費用 C	千円	125,308	114,314	113,886	109,513
	うち人件費総額 D	千円	47,917	36,141	36,623	37,673
	評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-
	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 1,203	21	983	899
	経常外損益 G	千円	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 I=(F+G)	千円	△ 1,203	21	983	899
	当期指定正味財産増減額 J	千円	△ 7,000	-	-	-
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 K	千円	117,098	114,310	111,480	109,914	
公益目的 の事業会計 (①)	経常収益 A①	千円	111,265	99,060	99,169	93,679
	うち県財政支出額 B①	千円	111,260	99,036	95,782	93,182
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	111,260	99,036	95,782	93,182
	うち最も多額な項目	項目名	受取利息収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入
		千円	5	20	3,384	494
	経常費用 C①	千円	112,590	99,329	98,643	94,300
	うち人件費総額 D①	千円	42,029	28,113	28,500	29,449
	評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	△ 1,325	△ 270	526	△ 621
	経常外損益 G①	千円	-	-	-	-
	他会計振替額 H①	千円	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 I①=(F①+G①+H①)	千円	△ 1,325	△ 270	526	△ 621
当期指定正味財産増減額 J①	千円	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 K①	千円	111,260	99,036	95,782	93,182	
収益事業等 会計 (②)	経常収益 A②	千円	-	-	-	-
	うち県財政支出額 B②	千円	-	-	-	-
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	-	-	-	-
	うち最も多額な項目	項目名	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-
	経常費用 C②	千円	-	-	-	-
	うち人件費総額 D②	千円	-	-	-	-
	評価損益等合計額 E②	千円	-	-	-	-
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	-	-	-	-
	経常外損益 G②	千円	-	-	-	-
	他会計振替額 H②	千円	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 I②=(F②+G②+H②)	千円	-	-	-	-
当期指定正味財産増減額 J②	千円	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 K②	千円	-	-	-	-	
法人会計 (③)	経常収益 A③	千円	12,840	15,275	15,699	16,733
	うち県財政支出額 B③	千円	12,838	15,274	15,698	16,732
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	12,838	15,274	15,698	16,732
	うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入
		千円	2	1	1	1
	経常費用 C③	千円	12,719	14,985	15,242	15,213
	うち人件費総額 D③	千円	5,888	8,028	8,123	8,225
	評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	121	290	456	1,520
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-
	他会計振替額 H③	千円	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 I③=(F③+G③+H③)	千円	121	290	456	1,520
当期指定正味財産増減額 J③	千円	△ 7,000	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 K③	千円	5,838	15,274	15,698	16,732	

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。